

※一部訂正しております（2月12日）
 ページ 3 誤：瓶ビール（350ml）
 正：瓶ビール（330ml）

2020年2月4日
 株式会社東急モールズデベロップメント

『ゼロ・ウェイスト』の気づき～ごみ自体を出さない未来を考える～

商業施設 x 3Rをリードする企業 x 大学生による産学連携プロジェクト

コラボレーションイベント「me x rise 2020（未来図2020）」を開催

2020年3月20、21、22日の3日間 二子玉川ライズ・ショッピングセンターにて

株式会社東急モールズデベロップメント（本社所在地：東京都渋谷区、代表取締役社長：秋山浄司）は、当社が運営する商業施設「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」（以下、二子玉川ライズ S.C.）にて、「『ゼロ・ウェイスト』の気づき～ごみ自体を出さない未来を考える～」をテーマに、コラボレーションイベント「me x rise 2020（未来図2020）」を2020年3月20日（金・祝）からの3日間限定で開催します。本イベントは、日本で初めて『ゼロ・ウェイスト』を宣言した徳島県上勝町を本拠地とし、3R（リデュース、リユース、リサイクル）をリードする企業「RISE & WIN Brewing Co.（ライズアンドウィン ブルーイングカンパニー）」（以下、RISE & WIN）と、産業能率大学 経営学部 高原純一教授が指導するゼミの学生（以下、産業能率大学 高原ゼミ）との産学連携プロジェクトです。

モノがあふれ気軽に買い物ができる一方、大量のごみや廃棄物が発生し、環境問題が深刻化。環境問題に対する社会機運が高まる中、モノを売る場を提供する商業施設では「ごみを減らす・出さない」ためには、各テナントに頼らざるを得ない傾向にあります。本イベントは、「ごみを出さない未来を考え、『ゼロ・ウェイスト』に関心を持つきっかけ」の創出を目的として実施します。1日約8万人が来館し、3,000人以上のスタッフが働く二子玉川ライズ S.C.で開催することで、二子玉川ライズ S.C.と繋がるさまざまな方々への訴求を目指します。

SDGs（持続可能な開発目標）における「12 つくる責任 つかう責任」の目標に対し、多くの人が集まり、街の拠点とも言える商業施設から、三位一体となり、本イベントを通じて「つかう責任」についての“気づき”を促します。



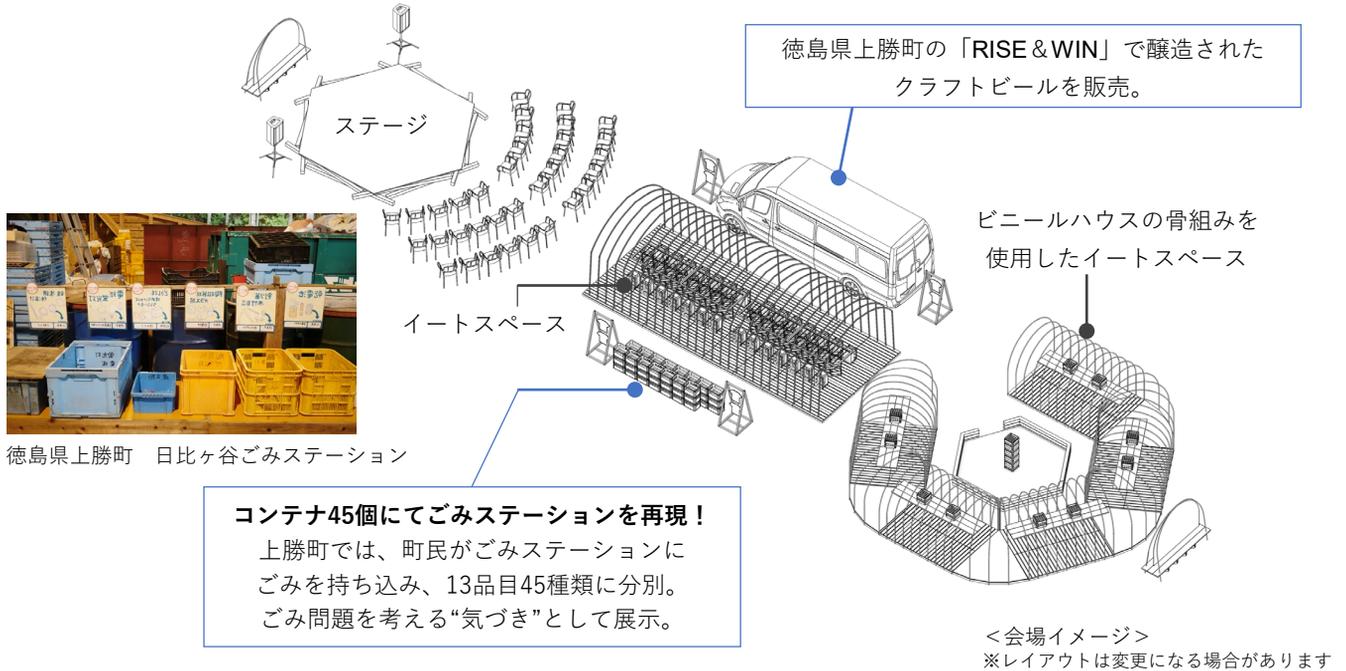
このたびのイベント「me x rise 2020（未来図2020）」は、「ごみを出さない」前提で計画。3Rをリードするクラフトビール醸造会社 RISE & WINと、産業能率大学 高原ゼミと連携する、ユニークでサステイナブルな取り組みは次頁以降をご覧ください。

■■ コラボレーションイベント「me x rise 2020（未来図2020）」について ■■

【日時】 2020年3月20日（金・祝）・21日（土）・22日（日）

◆ 廃材・リサイクル可能な資材を利用したイベント会場が出現

二子玉川ライズの広場「ガレリア」に出現するイベント会場は、廃材やリサイクル可能な資材を使用して設置されます。イベント終了後には、それらの廃材・資材は徳島県上勝町で再利用され、ビニールハウスの骨組みは、上勝町の農家で利用される予定。



会場デザイン 「？」の理由

日本における『ゼロ・ウェイスト』の先駆け、徳島県上勝町では、今春、新しいごみステーション（ごみ処理施設）を含む複合施設上勝町ゼロ・ウェイストセンター「ワイ（WHY）」が開業します。施設名称には、「なぜ、今？ なぜ、ここに？ なぜ、我々が？ なぜ、ごみを？」という問いかけに対する答えを見つけるという思いが込められています（参照：why-kamikatsu.jp）。その施設は上空から見ると「？」の形状をしており、本イベントにおいても「なぜ」を問いかけ答えをみつけるきっかけになることを願い、「？」を模ったデザインに。

◆ 二子玉川ライズ S.C.内で回収されたペットボトル*を利用したランプシェードとベンチ

二子玉川ライズ S.C.内で
回収されるペットボトル

1日 26kg = 約860本

- * 従業員スペースを除く
- * ペットボトル1本 30gで算出

※ 回収されたペットボトルは洗浄後、利用します。



写真：shutterstock

◆ 紙の代替素材である、石灰石からつくられた持続可能な素材をポスターに採用

石灰石を主原料とし、原料に水や木材パルプを使用せず紙の代替となる「LIMEX（ライメックス）」を本イベントのポスターに使用します。ポスターはイベント終了後に回収し、アップサイクルされます。

◆ 生物多様性を評価する「JHEP認証」の最高ランク（AAA）を取得した、二子玉川ライズの菜園で収穫された「さつまいも」をクラフトビールの原料に！

11月に当社社員、RISE & WIN 田中社長、産業能率大学 高原教授、高原ゼミの学生でさつまいもを収穫。

1月下旬、当社社員が徳島県上勝町を訪問し、収穫したさつまいもを原料としたクラフトビール醸造の仕込みに参加。



二子玉川ライズ 菜園にて



収穫したさつまいもを炭火で焼くことででんぷんを糖化し、原料として使用



焼いたさつまいもをマッシュし、タンクへ投入

◆ RISE & WINによる二子玉川ライズ S.C. オリジナル クラフトビールを量り売りと瓶で限定販売！
マイグラスを持参して『ゼロ・ウェイスト』への第一歩に

rise SP Ale（収穫したさつまいもを使用）

rise blue Ale（二子玉川ライズ S.C.カラーの“青”をイメージ）

生ビール（量り売り）250ml 600円

瓶ビール（330ml）770円 ※表示価格は全て税込み

量り売りの生ビールは、マイグラス持参で100円引き。

廃棄されがちな野菜の切れ端などを使用した「ゼロ・ウェイスト スープ」、自家製燻製ベーコン、クラフトソーセージなどの軽食も用意。



KAMIKATZ BEER <イメージ>

※本イベント会場「ガレリア」外、飲食店舗におけるクラフトビール販売価格は店舗により異なります。

◆ クラフトビールなどの売上げの3%を寄付

一般社団法人二子玉川エリアマネジメントの多摩川河川敷における活動「かわのまちアクション」へ寄付します。

「かわのまちアクション」は、専門家と連携し、多摩川の環境保全活動や調査を住民とともにやっている取り組み。

◆ 産業能率大学 高原ゼミ主催ワークショップ・イベント

今回のコラボレーションイベントは、2019年3月に徳島県上勝町でキックオフ。学生は、上勝町の『ゼロ・ウェイスト』の取り組みを視察・体験し、その時に自ら学び・経験したことが今回のイベントに反映されています。上勝町で“仙人”として親しまれる中村修氏から学んだ、塗り絵をしてカードをつくるワークショップ、『ゼロ・ウェイスト』を紹介する紙芝居など、学生ならではのユニークなイベントを開催します。



2019年3月 上勝町を訪れた高原教授とゼミ生、東急モルズデベロップメント社員との集合写真



ワークショップ イメージ
塗り絵をしてカードづくり



徳島県上勝町の“仙人” 中村修氏

■■ RISE & WIN Brewing Co.について ■■

日本で初めて「ゼロ・ウェイスト」を宣言した徳島県上勝町で、生産から流通、販売の過程でなされる過剰な梱包や包装から解放されなければごみは減らないという意識の基で活動を行っている企業。上勝町が真剣に取り組む、「リデュース」「リユース」「リサイクル」の3Rを推進すべく、ごみ集積所にあった建具や家具を再利用した地産地消的な建築設計のアプローチの店舗で、廃棄対象になる上勝町特産の柚香の皮を香りづけにつかったクラフトビールを生産・提供。

URL: www.kamikatz.jp

<徳島県上勝町について>

- 日本で初めて、2003年9月19日に「ゼロ・ウェイスト」を宣言
- 未来の子供たちにきれいな空気やおいしい水、豊かな大地を継承するため、2020年までに上勝町のごみをゼロにすることを決意
- 四国で一番小さい町で、最も人口が少ない町（上勝町 人口1528人／2019年9月1日現在）
- ごみを13品目45分別し、リサイクル率約80%



RISE & WIN Brewing Co.

■■ 産業能率大学 経営学部 経営学科 高原ゼミについて ■■

高原純一教授が指導する高原ゼミは「マーケティングの本質は心を豊かにし幸せにする」という考えのもと、「まずやってみる」という自らの頭で考え身体と心でカタチにし体験することを大切に、さまざまなプロジェクトを実施。「世界が愛に溢れ平和になること」をビジョンに掲げ、ラブ&ピースを胸に、おもしろいをデザインするゼミ。



産業能率大学 高原ゼミ

■■ 二子玉川ライズ・ショッピングセンターについて ■■

「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」は、民間開発としては都内最大級のスケールを誇る「二子玉川ライズ」内に位置する、商業施設。「二子玉川ライズ」は、2015年に世界的な環境認証評価「LEED まちづくり部門」において世界初のゴールド本認証を取得。

名称： 二子玉川ライズ・ショッピングセンター
 所在地： 〒158-0094 東京都世田谷区玉川2-21-1
 開業日： 第1期事業 2011年3月、第2期事業 2015年4月
 営業面積： 約55,000㎡
 テナント数： 約180店舗
 アクセス： 東急田園都市線・大井町線 二子玉川駅直結
 ショップ： 10~21:00 レストラン： 11:00~23:00
 営業時間： ※一部店舗により営業時間が異なります
 URL： sc.rise.sc



二子玉川ライズ・ショッピングセンター

株式会社東急モールズデベロップメントについて

株式会社東急モールズデベロップメントは、商業施設（ショッピングセンター）の運営を行う、東急グループの一員。東急線沿線を中心に、駅直結もしくは駅前などの好立地において、駅利用者や地域にお住まいの方々のさまざまなライフスタイルに合わせた店舗ならびにサービスを提案し、地域密着型の商業施設を展開。主な運営施設は、「二子玉川ライズ・ショッピングセンター」「たまプラーザ テラス」「港北 TOKYU S.C.」、「武蔵小杉東急スクエア」などの“東急スクエア”ブランド、東急線駅構内・駅近隣に展開する商業施設ブランド「etomo（エトモ）」など。2019年11月に開業した「グランベリーパーク」の運営業務を東急株式会社から受託し、現在、29のさまざまな形態の商業施設を運営。